

補助事業番号: 19-123

補助事業名: 平成19年度 環境調和型航空機技術に関する調査研究等補助事業

補助事業者名: 社団法人 日本航空宇宙工業会

## 1. 補助事業の概要

[http://www.sjac.or.jp/common/pdf/sjac\\_gaiyo/hojo/19-123.pdf](http://www.sjac.or.jp/common/pdf/sjac_gaiyo/hojo/19-123.pdf)

### (1)事業の目的

航空機産業は、幅広い技術波及効果を有する先端技術であり、わが国において更なる発展が期待されているものである。

又、近年航空機分野においても環境保全、資源・エネルギー消費の削減等の要請が高まっており、適切に対処が求められている。

ところが、わが国の航空宇宙産業は、遅れて発展し、欧米に比べ産業規模も小さく、国際競争力も未だ脆弱な状況にあり、自主努力のみで技術基盤の強化などを図っていくことは容易ではない。航空宇宙産業に対しては、他の航空先進国においても戦略事業としてその発展を図っている。こうした中で、環境保全、資源エネルギー消費の削減等における課題の検討を行う事により、もって循環型経済社会の構築を指向し、地球温暖化対策や有害物質の処理・少量化の推進に資する。

### (2)実施内容

環境調和型航空機技術に関する調査研究

本事業を推進するため、当工業会内に設置された革新航空機技術開発センター企画委員会において、研究開発の課題・実施方法、成果の評価について検討・協議を行った。

この結果、以下の6件の研究課題を選定・実施し、その成果を報告書にまとめて関係先に公開・配布した。

- 先進高効率防除氷システムの研究
- 脚や機体構造等に用いる高強度鋼のカドミウムめっき代替プロセスの研究
- 締結部品等公共規格品のカドミウムめっき代替プロセスの研究
- 小型航空機搭載用環境対応型バッテリーの研究
- 航空機機体騒音低減技術の研究
- 高成形合金 2013 板材の開発及び低コスト構造への適用研究

## 2. 予想される事業実施効果

将来の革新的航空機を目標とした環境調和型航空機技術の委託研究を実施し、我が国航空機工業の基盤強化を図る。これらの成果は、航空機製造業だけではなく他の産業分野にも応用しうる多くの先進的成果を包含しており、我が国の航空機業界並びに関連産業の発展と振興に大きく貢献することが期待される。

### 3. 本事業により作成した印刷物等

- ・ 先進高効率防除氷システムの研究
- ・ 脚や機体構造等に用いる高強度鋼のカドミウムめっき代替プロセスの研究
- ・ 締結部品等公共規格品のカドミウムめっき代替プロセスの研究
- ・ 小型航空機搭載用環境対応型バッテリーの研究
- ・ 航空機機体騒音低減技術の研究
- ・ 高成形合金 2013 板材の開発及び低コスト構造への適用研究
- ・ 「平成18年度研究委託事業成果の評価」(諮問88号)に対する答申
- ・ 「平成19年度研究開発実施計画」(諮問第89号)に対する答申並びに「研究開発委託事項、委託条件等、および委託先の審査・選定」(諮問第90号)に対する答申(継続分)
- ・ 「平成18年度研究開発実施計画」(諮問第89号)に対する答申並びに「研究開発委託事項、委託条件等、および委託先の審査・選定」(諮問第90号)に対する答申(新規分)
- ・ 平成19年度委託調査研究成果発表会予稿集

### 4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社団法人 日本航空宇宙工業会(シャダンホウジン ニホンコウクウウチュウコウギョウカイ)

住所： 107-0052

東京都港区赤坂1丁目1番14号

代表者： 会長 森 郁夫 (モリ イクオ)

担当部署： 総務部

担当者名： 塩澤 隆司 (シオザワ タカジ)

電話番号： 03-3585-0511

Fax. : 03-3585-0541

E-mail: [shiozawa@sjac.or.jp](mailto:shiozawa@sjac.or.jp)

URL: <http://www.sjac.or.jp>